

# 日本マラソンの父

～2019大河ドラマ「いだてん」主人公～

ゆかりの地めぐり

# 金栗四三



日本人初のオリンピック選手(3度出場)

マラソン世界最長記録の持ち主

箱根駅伝を創設

玉名市・和水町・南関町大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」地域振興協議会

# 人々を惹き付ける金栗ストーリーズ



## 日本人初のオリンピック選手 ～「黎明の鐘」に～

「先生、私には荷が重すぎるようです。」恩師・嘉納治五郎からの日本代表の知らせを一度固辞した金栗を、嘉納は再び説得しました。欧米諸国と日本の文明の差を埋めるためには誰かがやらなければならない、この機会を逃したら4年後にしかやっこない・嘉納の言葉は次第に熱を帯びます。そして、「日本スポーツ界の黎明の鐘となれ。」その言葉に奮い立った金栗は、日本中の期待を背負いストックホルムへ旅立ちました。しかし、結果は大敗。だが、この経験こそが、のちに「日本マラソンの父」と称される金栗の人生に大きな影響を与えました。



## 「消えた日本人」と「マラソン世界最長記録」

日本中の期待を背負い、ストックホルム大会のスタートラインに立った金栗。しかし、長旅の疲れや慣れない環境などで体調万全とはいかず、さらに当日の酷暑が追い打ちをかけ、金栗はレース途中で意識を失い、地元のペトレ家に介抱されます。このとき主催者側は、レースに復帰できなかった金栗を行方不明扱いとし、現地では「消えた日本人」と話題になりました。



そして、月日は流れ1967年3月。ストックホルム大会開催55周年を記念する式典が開催され、行方不明扱いだった金栗は、主催者から招待を受けて、念願のゴールを果たします。記録は「54年と8か月6日5時間32分20秒3」。金栗は「長い道のりでした。この間に嫁をめとり、6人の子どもと10人の孫に恵まれました。」と答え、会場は拍手に包まれたそうです。



## 箱根駅伝の創設

ストックホルムでの大敗後、「日本を強くするにはマラソン選手の育成が不可欠。一度にたくさんの選手を育てるには、駅伝競走が最適だ。」と駅伝の創設を呼び掛けました。それに応じた早大、慶大、明大、東京高師（現 筑波大学）の4校によって、1920年（大正9年）に「四大専門学校対抗駅伝競走」が開催されました。これが新春の風物詩「箱根駅伝」のはじまりです。この時、金栗は28歳でした。また、第80回大会から最も活躍した人に贈られている「金栗四三杯」は、金栗が1911年のオリンピック国内予選大会で受賞した優勝カップの複製で、「世界に通用するランナーを育成したい」という金栗の想いが込められています。



金栗四三杯



## マラソンシューズの原点「金栗足袋」

ストックホルムでの大敗以来、金栗にとってマラソン足袋の改良は課題の一つでした。金栗は、東京の足袋屋「ハリマヤ」の黒坂親子に頼んで、ハゼから甲にひもを付けるタイプに変え、さらには靴型のマラソンシューズへと改良を重ねました。この進化とともに日本マラソン界も発展していったのでした。



初期の金栗足袋



## グリコ「ゴールインマーク」のモデルの一人

大阪・道頓堀のランドマークにもなっている、あの江崎グリコの「ゴールインマーク」。初代は大正11年から始まり、現在は7代目となっているこのマークの2代目のモデルの一人になったのが、金栗四三だったそうです。たくさんの方々に見られている「ゴールインマーク」、金栗の人柄もマークに表れているのではないのでしょうか。

大河ドラマ「いだてん」放送開始の2019年1月から  
注目の**二大施設**が期間限定でオープン!!

## 大河ドラマ館 (仮称)

2019年大河ドラマ「いだてん」の世界観を体験できる施設として、キャストのパネルや撮影セットの一部再現、ロケのメイキング映像の上映、ドラマで実際に使用された小道具や衣装の展示などを予定しています。主人公「金栗四三」ゆかりの地でドラマの感動を追体験しましょう!!

**所** 熊本県玉名市繁根木163(旧玉名市役所跡地)  
**問** Tel.0968 - 57 - 7548  
(玉名市金栗四三PR推進室)  
**¥** 大人600円・小人300円(予定)

## 日本マラソンの父 金栗四三ミュージアム

日本マラソンの父と称され、箱根駅伝の創設者としても知られる「金栗四三」を等身大の視点で紹介するミュージアムです。金栗が使用したユニフォームやマラソン足袋などのゆかりの品々や写真の展示をはじめ、ここでしか見ることのできない映像や体験コンテンツ等を通して、その生涯や功績、スピリットなど、金栗の魅力を感じることができます。

マラソンや駅伝に興味のある方はもちろん、学校の社会科見学など、教育旅行にもオススメです!!

**所** 熊本県玉名郡和水町大田黒623 - 1  
(三加和温泉ふるさと交流センター)  
**問** Tel.0968 - 86 - 5725 (和水町商工観光課)  
**¥** 高校生以上600円  
中学生以下300円(就学前児童は無料)(予定)

※写真はイメージです



◀金栗四三ミュージアムホームページ

### 金栗四三の生家

(金栗四三生家記念館)



金栗四三が生まれ育った家。築200年以上が経過した今でも現存しており、大河ドラマの放送が始まる2019年1月から一般公開を行う予定です。

金栗家は、四三が生まれる以前は造り酒屋を営んでおり、玄関を入ると広い土間が印象的です。また、「学校部屋」と呼ばれる2畳ほどの四三専用の部屋があり、当時は声を張り上げて読み方をしたそうです。

現在は、地元観光ガイドによる案内も行っています(要予約Tel.0968-86-5725(和水町商工観光課))。

**所** 熊本県玉名郡和水町中林546  
**問** Tel.0968 - 34 - 3047  
(和水町教育委員会社会教育課)  
**¥** 高校生以上300円  
中学生以下200円(就学前児童は無料)(予定)



多言語観光ガイド  
「なごみツーリズム」

連絡先

玉名市 金栗四三PR推進室 〒865 - 8501 熊本県玉名市岩崎163 Tel.0968 - 57 - 7548  
和水町 商工観光課 〒865 - 0192 熊本県玉名郡和水町江田3886 Tel.0968 - 86 - 5725  
南関町 まちづくり課 〒861 - 0898 熊本県玉名郡南関町大字関町1316 Tel.0968 - 57 - 8501

## 「金栗四三ロード」と「玉名北高等小学校」

(現 南関町立南関第三小学校)



金栗が通った生家から玉名北高等小学校までの通学路は「金栗四三ロード」と呼ばれています。山坂の難所を超える往復12キロの道のりを近所の子もたちと毎日走って行き戻りすることで自然と心身は鍛えられ、金栗はのちに「マラソンの基礎は小学校時代に(片道)1里半の通学を行ったことである」と語っています。

玉名北高等小学校跡地は、現在、南関第三小学校となっています。2017年には卒業生が記念に金栗をテーマにしたオリジナルソングを作成し、偉大な先輩を讃えました。



玉名北高等小学校跡記念碑

## 旧制玉名中学

(現 県立玉名高校)



玉名高校生徒と走る

金栗の母校の校庭には、銅像があります。除幕式には金栗本人も出席し、1969年の建立以来、生徒たちをずっと見守っています。また、本校が第3回全国高校駅伝大会(1952年)で、初出場初優勝を成し遂げた時は、母校の優勝に金栗はとても喜んだそうです。



玉名高校の銅像

## 金栗四三の住家とお墓

(場所:熊本県玉名市上小田、山部田地区)

金栗が22歳のとき、玉名郡小田村(現 玉名市上小田)の池部家の養子となり、石貫村の春野スヤと結婚しました。この時から名前が「池部四三」となりますが、よく知られていた「金栗四三」という名前を生涯使用しました。



玉名市上小田には、晩年を過ごした住家やお墓、金栗の格言「体力・気力・努力」が刻まれた記念碑があります。金栗はここで過ごしていた頃は、朝夕の散歩を日課にしており、自宅から近くの小学校までの約800メートルを雨の日も風の日も歩き「人間、足が大切」と語っていました。



記念碑とお墓

## 玉名市立歴史博物館こころピア

(場所:熊本県玉名市岩崎117)



金栗足袋などのゆかりの品々を収蔵・展示しています。金栗の人生を楽しみながら学べる「日本マラソンの父 金栗四三すごろく(200円)」も販売しています。



休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

☎ TEL0968 - 74 - 3989

¥ 一般300円・大学生200円(高校生以下は無料)



◀玉名市公式観光案内サイト「タマてハコ」  
QRコード

# 日本マラソンの父のふるさと マラソン大会カレンダー

2月



## 横島町いちごマラソン大会

(玉名市：毎年2月最終日曜日開催)

給水ならぬ「給いちご・給ミニトマト」が人気の市民マラソン大会です。地元のいちごとミニトマトの給付所を設置しており、家族で楽しんだり、いちご目当てに参加する人も!!

## 金栗杯玉名ハーフマラソン大会

(玉名市：毎年3月第1日曜日開催)

昭和24年から始まった本大会は、長い歴史と伝統を持ち、若手選手の登竜門として数々の名ランナーを輩出しています。高低差がほとんどない、平坦な高速コースで、「ハーフマラソン」「男子10km」「女子10km」の3部門で実施されます。日本陸連登録競技者であることが参加資格となっています。

3月



4月



## 関所健康マラソン大会

(南関町：毎年4月29日「昭和の日」開催)

老若男女誰でも気軽に参加できる関所の町のマラソン大会です。3kmは南関町の商店街一帯を走る平坦で走りやすいコース。5km・10kmは「関所」の名にふさわしいアップダウンのあるコースを走ります。

## キタクマ金栗四三リレーラン

(和水町：毎年10月上旬開催)

金栗「四三」にちなんで、43kmをチームの仲間たちとリレーで繋がります。

ひとりではつらくても、「<sup>たすき</sup>襷を繋げば、がんばれる!」友人や職場の同僚とスポーツの秋を楽しみましょう。

10月



11月

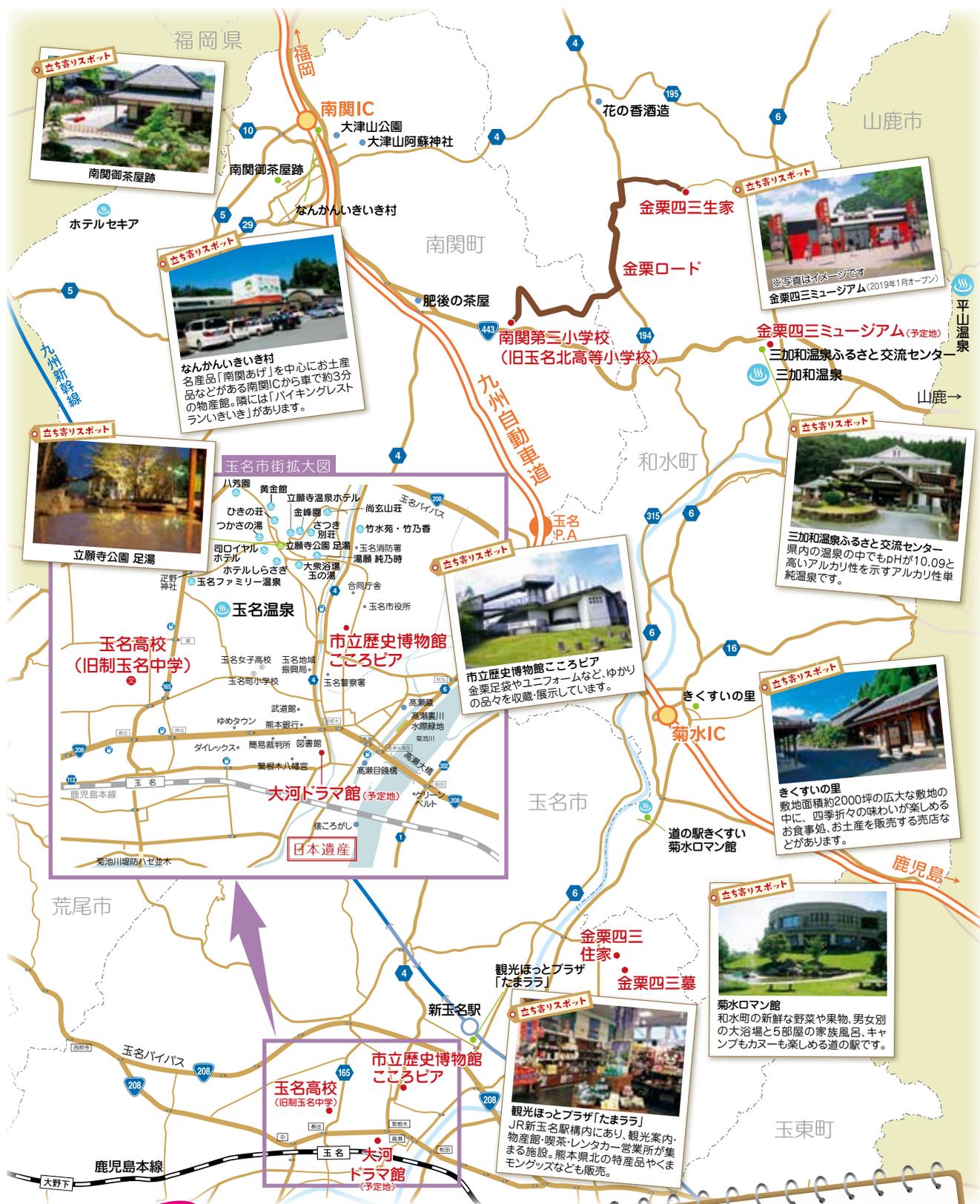


## 金栗四三翁マラソン大会

(和水町：毎年11月第1日曜日開催)

金栗の名を冠した健康マラソン大会。「金栗四三の生家」の前を走るコースもあります!! 金栗四三生誕の地を駆け抜けてみませんか!?

# 日本マラソンの父のふるさとMAP



## 意外と **近い** 日本マラソンの父のふるさと

- 熊本駅から玉名駅まで……………約30分
- 博多駅から新玉名駅まで……………約40分 (新幹線利用)
- 熊本市内から車で……………約50分 (熊本ICからは約20分)
- 福岡から車で (高速道路利用) ……約60分

金粟四三ゆかりの観光スポットの他にも、二千年にわたる米作りの歴史が認定された「菊池川流域日本遺産」や「玉名温泉・三加和温泉」。熊本ラーメンのルーツといわれる「玉名ラーメン」。自然を満喫できる「アウトドア体験」など、**楽しい・おいしい**。癒される観光名所がいっぱいですよ!!